

教育委員会共通課題について

前回までの主な意見と対応状況（全体共通事項）

主な意見（要約）	対応	今回の対応（現時点）	備考
供用開始時点や長期（7年先以降）の需要（児童数の変化、推計値）が不明。	個々の事業検討において、7年先以降の予測である長期シミュレーションも作成しているため、今後は資料提示していきます。なお、長期シミュレーションについては、現行の算出方法とは別に、横浜市将来人口推計の数値を基に各学校に児童・生徒数を按分する方法も検討中です。	横浜市将来人口推計の数値を各学校に按分する方法について、これまでの長期シミュレーション方法との予測精度の比較を行いながら、具体的な推計方法を検討しているところです。 今年度中に整理を行い、次年度以降の新規事業において新たなシミュレーション方法を取り入れていく予定です。	
地域の状況を配慮した上でこの学校があるといったような説明が必要ななか、何をアセスメントすべきか。統一フォーマットと評価基準で整理・蓄積し、活かしていくべき。	事業を終了した建替校から順次、供用開始後1年後以降を目途に、利用者、周辺自治会等を対象にアンケート調査等によりフィードバックの実施を検討します。	今後、学校整備後の施設面、防災面、地域面、環境面において、統一の評価基準を作成し、事後評価、事前評価に活かしていきます。	